



第92号
発 行／宇都宮市PTA連合会 福田 治久
宇都宮市天神1-1-24
宇都宮市教育センター内
TEL・FAX 632-7856
編 集／市P連新聞編集委員会
印 刷／株松井ビ・テ・オ・印刷



『千の藏より子は宝』

宇都宮市PTA連合会 会長 福田 治久

議事では、本年度の活動方針案、事業計画案、予算案及び新役員案など、すべての議案について承認されました。

令和六年度ソフトボール大会バレーボール大会、広報紙コンクール表彰式を行いました。また長きにわたり当連合会を支えた退任する役員で、五年以上勤めた一名と、一年以上勤めた役員二十七名の方にそれぞれ小堀教育長、福田会長から感謝状を贈呈し、無事閉会となりました。



令和七年度定期総会

そばで共に見届け、時には助け導く、
そして子供たちの安心安全をしっかりと
担保し守っていきたいと考えております。

PTAは子育ての一環です。そして
生活の延長線上にあります。仕事や家
庭を犠牲にしてはいけないものです。
できるときにやる、今回出られなかつ
たら次出られるときに出る、それでま
わる組織にしていかなければいけない
と考えております。

今年度も全ての皆さまと手を携え
共に歩んでまいる所存でございますの
で、何卒ご支援ご協力の程よろしくお願
い申し上げます。

今和七年度も引き続き 宇都宮市P.T.A連合会の会長を務めさせていただ
くこととなりました福田治久でござい
ます。

環境や時代に合わせて変えなければいけないもの、変えてはいけないものどちらも多くあると思います。しかししながら絶対に変わらないものは私はP.T.A.の本質だと思っております。学校のため保護者のためそして何よりも愛して止むことのない子供たちのためであります。高校、大学ではなく義務教育の子供たちだからこそ必要になるものがたくさんあるのです。

学校長・PTA会長研修会

8月1日(金)ホテルニューイタヤ3階天平の間において、参加者157名による令和7年度の「校長・PTA会長研修会」が開催されました。

研修会は二部構成とし、第一部は市P連からの連絡等、第二部は「教育で選ばれるまちを目指して」と題して、宇都宮市における子供たちへの教育に関する取り組みについて、宇都宮市教育委員会の小堀茂雄教育長から講話をいただきました。

講話では、市の教育施策について、3つの ACTION (Action・Attraction・Interaction) の 視点から、確かな学力を育む「小中一貫教育・ 地域学校園」制度、読書活動を支える学校図書 館司書の全校配置、自然体験や職場体験を通 した価値観の芽生え等を紹介していただきました。

この研修から、子供たちが生き生きとした毎日を過ごせる環境を整備することへの宇都宮市の取り組みを知ることができました。子供たちが過ごしているこの教育環境は、多くの人たちの努力によって築かれており、行政、学校、家庭が協力することでその仕組みは成り立つものです。子供たちが自ら考え行動する力を育み成長していくためには、社会という人間関係の中で、自らと向き合い問題を解決していくことが大切であると学んだ研修でした。

副会長 佐藤 達也

教えて！学校給食!!人気メニュー！

宇河地区の小中学校にご協力いただき、“栃木ならではの人気給食メニュー”についてお聞きしました。その結果、多くの学校から支持を得る圧倒的人気メニューの存在が明らかになりました。今回は3位の2品をご紹介します！各校の特色が存分に發揮された献立をご覧ください。

後期ではさらに24校の献立とランキング1位、2位をご紹介します。お楽しみに！



「組体操先生泣いた成功だ！」これは、学級の子が作った川柳です。今でも「栄光の架橋」を聴くとあの時の子供たちの満足気な笑顔を思い出します。運動会に号泣した変な先生になつたことを、私は光榮に思っています。

体操の「フィナーレを飾ったのがこの曲です。連日練習する中、失敗続きで学級の雰囲気が重苦しくなつたこともありました。特に、フィナーレで組む「橋」は、構成人数も多く、皆が苦心しました。日ごとに上達しましてが、本番は一度きり、班全員の息を合わせて集由しなければ成功しません。本番前、入場する子供たちを、「頑張れ！」と祈りながら見送つたことをよく覚えてています。演技は順調に成功し、いよいよフィナーレ、「栄光の架橋」が流れ、一基、次々と形や高さの違う橋が立つていきました。「できた、できた」と、子供たちがつくつた橋を見て

私は、この曲にまつわる忘れられない思い出があります。

田原西小学校 塩沢 美奈子

ひらく★つながる オリエンピックソングとして 有名な「栄光の架橋」

